



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ブリーチ 上場取引所 東
 コード番号 9162 URL http://bleach.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平 啓介
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 小西 勲 TEL 03(6265)8346
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	4,431	—	82	—	83	—	75	—
2025年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 82百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	2.94	2.81
2025年6月期第1四半期	—	—

(注) 2025年6月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	13,054	9,618	73.7
2025年6月期	13,234	9,534	72.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 9,617百万円 2025年6月期 9,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

2026年6月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期1Q	25,694,200株	2025年6月期	25,664,200株
2026年6月期1Q	一株	2025年6月期	一株
2026年6月期1Q	25,674,308株	2025年6月期1Q	25,479,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の経済政策に関する不確実性、海外情勢の不安定化、インフレ進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況となっているものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により、経済活動の正常化が引き続き進展し、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場においては、社会全体のデジタルシフトがさらに加速する中、動画広告やSNS広告をはじめとした運用型広告の活用が拡大し、2024年度の広告費は3.6兆円（前年比+9.6%）に成長しております。またこのインターネット広告費は、2024年度の総広告費の47.6%（前年比+2.1%）を占めており、インターネット広告への需要が一層高まっている状況が示されております。（株式会社電通「2024年 日本の広告費」より）

このような環境下において、当社グループでは、新規商材、新規ジャンルへの積極的な投資や広告運用手法の高度化などのマーケティング手法の拡大により主要事業の成長を実現してまいりました。引き続き複数のコア商材（注1）の売上拡大に貢献する体制を構築し、マーケティング戦略の多様化と収益基盤の強化を図っております。また、広告配信において蓄積されるデータを活用したPDCAの高速化、生成AIの活用による広告制作の生産性向上等、テクノロジーを活用した業務改革にも注力しております。

2025年3月に設立した連結子会社である株式会社オーラムテックでは、「販売手法、販売インフラの構築に課題を抱える企業」に対する支援サービスを提供しております。当社が培ってきたデジタルマーケティング領域の支援と連携することで、商品コンセプト設計から販売インフラ構築・運用まで「売れる仕組み」を当社グループによって一気通貫で支援することが可能となりました。当第1四半期連結累計期間においては、美容・健康・ライフスタイル領域を軸とした複数メーカーの日本市場における製品企画・販売体制構築の支援に取り組んでまいりました。特に、グローバルに家庭用美容機器を展開するJOVSブランド（注3）の中で圧倒的なポジションを確立している光美容技術を用いたスマート美容機器の総代理店として、製品の調達から販売・物流を担う体制の構築を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高4,431,805千円（前年同期比13.3%増）、営業利益82,025千円（前年同期は営業損失70,927千円）、経常利益83,346千円（前年同期は経常損失59,794千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益75,557千円（前年同期は四半期純損失60,708千円）となりました。

(注1) コア商材とは、月間平均レベニューシェア(当社売上高)10百万円以上の商材(当社が支援する顧客企業の商品やサービス)を指します。

(注2) 当社グループは前第3四半期連結累計期間から連結決算に移行しております。文中の「前年同期比」及び「前年同期」は前事業年度における単体決算の数値と比較し算出しております。

(注3) JOVSブランドは中国深セン市に本社を置くShenzhen Qianyu Technology Co., Ltd. が手掛ける美容機器ブランドであり、世界35ヵ国において年間取引総額は約300億円（2024年度）規模に達しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より179,936千円減少し、13,054,443千円となりました。これは主に、売掛金が230,928千円、前渡金が85,523千円増加したものの、現金及び預金が505,099千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より263,479千円減少し、3,436,028千円となりました。これは主に、買掛金が133,826千円増加したものの、長期借入金(1年内返済予定含む)が180,000千円、未払法人税等が149,112千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より83,543千円増加し、9,618,414千円となりました。これは主に、利益剰余金が75,557千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く外部環境については、依然として広告関連法令の改正や一部の広告媒体におけるルールの変更、インターネット広告単価の変動の影響等により、不透明な状況が継続しております。また、当社は中長期的な事業拡大のため、新規商材の拡大に注力し、商材ポートフォリオの転換を図っております。

当第1四半期連結累計期間においては、一部の新規商材が徐々にコア商材(*1)化してきたことにより足元の利益に貢献しているものの、依然として新規商材の立ち上げに想定以上の時間を要しており、当社業績に貢献する時期や度合いを合理的に予測することが困難な状況にあります。

当社は、これらの理由により、2026年6月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な連結業績予想の算定が困難であることから、未定としております。

今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(*1) コア商材とは、月間平均レベニューシェア額(当社売上高)が10百万円以上の商材(当社が支援する顧客企業の商品やサービス)を指します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,899,026	8,393,927
売掛金	1,654,319	1,885,247
商品	334,613	304,037
貯蔵品	21,467	20,536
前渡金	1,333,719	1,419,243
前払費用	126,092	128,341
未収入金	143,758	182,523
その他	3,340	3,305
流動資産合計	12,516,338	12,337,162
固定資産		
有形固定資産		
建物	170,205	170,205
車両運搬具	5,636	5,636
工具、器具及び備品	135,086	140,355
減価償却累計額	△119,711	△125,697
有形固定資産合計	191,217	190,499
無形固定資産		
ソフトウェア	10,244	9,574
ソフトウェア仮勘定	92,378	92,378
無形固定資産合計	102,622	101,952
投資その他の資産		
投資有価証券	213,766	223,195
出資金	25	25
敷金	122,997	120,110
長期前払費用	85,926	80,079
差入保証金	200	200
投資その他の資産合計	422,915	423,610
固定資産合計	716,755	716,062
繰延資産		
創立費	1,286	1,218
繰延資産合計	1,286	1,218
資産合計	13,234,380	13,054,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	973,309	1,107,136
1年内返済予定の長期借入金	720,000	720,000
未払金	449,299	446,407
未払費用	154,851	131,511
未払法人税等	169,928	20,815
未払消費税等	67,623	45,962
賞与引当金	59,948	33,969
その他	18,380	21,115
流動負債合計	2,613,341	2,526,918
固定負債		
長期借入金	1,080,000	900,000
繰延税金負債	6,167	9,110
固定負債合計	1,086,167	909,110
負債合計	3,699,508	3,436,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,380,213	3,380,969
資本剰余金	3,305,213	3,305,969
利益剰余金	2,835,549	2,911,107
株主資本合計	9,520,977	9,598,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,399	19,885
その他の包括利益累計額合計	13,399	19,885
新株予約権	494	482
純資産合計	9,534,871	9,618,414
負債純資産合計	13,234,380	13,054,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,431,805
売上原価	3,846,098
売上総利益	585,707
販売費及び一般管理費	503,682
営業利益	82,025
営業外収益	
受取利息	8,469
雑収入	168
営業外収益合計	8,637
営業外費用	
支払利息	6,599
雑損失	433
その他	282
営業外費用合計	7,316
経常利益	83,346
税金等調整前四半期純利益	83,346
法人税、住民税及び事業税	7,789
法人税等合計	7,789
四半期純利益	75,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,557

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	75,557
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,485
その他の包括利益合計	6,485
四半期包括利益	82,043
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	82,043

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額
	シェアリング型統合 マーケティング事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,251,777	180,028	4,431,805	—	4,431,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	397	397	△397	—
計	4,251,777	180,426	4,432,203	△397	4,431,805
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	78,647	△5,178	73,469	8,555	82,025

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(注2) 調整額はセグメント間取引消去であります。

【関連情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社アール	1,439,068	シェアリング型統合マーケティング事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	10,741千円
